



JASDAQ

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 大

コード番号 3374 U R L <http://www.naigaitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 米澤 秀記 T E L 03 (5433) 1123

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,917	△32.1	△116	-	△140	-	△222	-
24年3月期第2四半期	8,716	0.3	152	△26.0	134	△24.9	129	△12.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △241百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 121百万円 (△16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△45.72	-
24年3月期第2四半期	26.60	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,075	1,185	13.1
24年3月期	10,714	1,451	13.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,185百万円 24年3月期 1,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 5.00	円 銭 5.00
25年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 5.00	円 銭 5.00
25年3月期(予想)			-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,950	△26.2	△190	-	△228	-	△310	-	△63.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料] 3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期 2Q	5,072,000株	24年3月期	5,072,000株
② 期末自己株式数	25年3月期 2Q	207,616株	24年3月期	206,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期 2Q	4,864,384株	24年3月期 2Q	4,865,424株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 繼続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要やエコカー補助金の政策効果等により改善傾向にあったものの、欧州経済の停滞及び米国や新興国での景気減速懸念などから先行きの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大が続いたものの、欧米を中心とした世界的な経済の減速懸念などから、半導体メーカーの半導体製造装置に対する設備投資が控えられたため、半導体製造装置メーカーの受注は引き続き減少いたしました。

また、F P D(フラットパネルディスプレイ)製造装置業界におきましても、液晶メーカーが薄型テレビ需要の急激な減少と景気低迷の先行き警戒感から投資行動に慎重な動きを継続させたことにより、F P D製造装置メーカーの受注も低迷いたしました。

このような経営環境のなかで、当社グループは、製販一体の総合力の強化と、営業力の強化により受注獲得に努めるとともに、アジアを中心とした「ものづくり」に積極的に対応するため、昨年の中国海外子会社の設立に続き、本年4月に韓国に「内外テック韓国株式会社」を設立し、販路の拡大を進めたほか、新たな事業分野への取り組みとして「医療機器分野」への参入を目指してまいりました。また、収益構造改善を目指し、原価改善や販売費・一般管理費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要取引先であります半導体製造装置メーカーからの受注が大きく減少したことから59億17百万円（前年同期比32.1%減）となりました。損益面では、売上の不振により、営業損失1億16百万円（前年同期営業利益1億52百万円）、経常損失1億40百万円（前年同期経常利益1億34百万円）となりました。

また、繰延税金資産を78百万円取崩したことにより、四半期純損失2億22百万円（前年同期四半期純利益1億29百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・F P D製造装置等の各種コンポーネント（部品）及び同装置の販売事業におきましては、半導体メーカーの投資抑制により、半導体製造装置メーカー等からの受注が減少したことから、売上高55億4百万円（前年同期比32.9%減）となりました。損益面では、取引先からのコストダウン要請や受注の減少から、営業損失93百万円（前年同期営業利益1億1百万円）となりました。

②受託製造事業

半導体・F P D製造装置等の組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましても、半導体製造装置メーカー等からの受注が低迷したことから、売上高6億53百万円（前年同期比39.6%減）となりました。損益面では、売上減少から、営業損失37百万円（前年同期営業利益32百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億38百万円減少し、90億75百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億97百万円、売上高減少に伴い受取手形及び売掛金が11億76百万円等、流動資産が16億96百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億72百万円減少し、78億89百万円となりました。この主な要因は、社債及び長期借入金（1年内を含む）の純減少額2億81百万円、仕入高減少に伴い支払手形及び買掛金が9億80百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少し、11億85百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が当四半期純損失等により2億46百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ13.5%から13.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績予想につきましては、引き続き厳しい環境で推移することが見込まれることに併せて、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成24年5月14日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、平成24年10月24日に公表いたしました「繰延税金資産の取崩しならびに業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、内外テック韓国株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,872,087	3,674,225
受取手形及び売掛金	3,886,966	2,710,809
商品及び製品	526,908	347,115
仕掛品	17,937	20,663
原材料及び貯蔵品	25,865	21,796
その他	184,186	41,219
貸倒引当金	△5,741	△3,975
流動資産合計	8,508,210	6,811,854
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,011,805	1,011,805
その他（純額）	339,420	359,539
有形固定資産合計	1,351,226	1,371,345
無形固定資産		
投資その他の資産	27,879	25,277
その他	835,534	875,926
貸倒引当金	△8,752	△8,770
投資その他の資産合計	826,781	867,156
固定資産合計	2,205,887	2,263,778
資産合計	10,714,097	9,075,633
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,315,766	3,335,091
1年内返済予定の長期借入金	1,019,366	908,196
未払法人税等	9,600	5,006
賞与引当金	58,000	35,000
その他	437,222	367,123
流動負債合計	5,839,956	4,650,417
固定負債		
社債	495,000	390,000
長期借入金	2,231,795	2,166,075
退職給付引当金	558,983	551,562
長期未払金	94,708	94,708
資産除去債務	11,959	12,054
その他	30,063	24,877
固定負債合計	3,422,510	3,239,279
負債合計	9,262,466	7,889,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389, 928	389, 928
資本剰余金	322, 078	322, 078
利益剰余金	748, 549	501, 810
自己株式	△28, 407	△28, 561
株主資本合計	1, 432, 148	1, 185, 255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20, 469	2, 152
為替換算調整勘定	△986	△1, 471
その他の包括利益累計額合計	19, 483	680
純資産合計	1, 451, 631	1, 185, 935
負債純資産合計	10, 714, 097	9, 075, 633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,716,346	5,917,712
売上原価	7,832,400	5,353,264
売上総利益	883,946	564,447
販売費及び一般管理費	731,537	681,386
営業利益又は営業損失（△）	152,409	△116,938
営業外収益		
受取利息	2,479	2,596
受取配当金	1,950	1,646
受取賃貸料	5,978	6,562
仕入割引	4,110	3,597
助成金収入	3,857	1,247
償却債権取立益	4,076	—
その他	6,024	5,332
営業外収益合計	28,477	20,983
営業外費用		
支払利息	38,146	41,921
その他	7,870	3,034
営業外費用合計	46,016	44,955
経常利益又は経常損失（△）	134,870	△140,911
特別損失		
減損損失	811	—
その他	147	—
特別損失合計	959	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	133,910	△140,911
法人税等	4,500	81,501
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	129,409	△222,412
四半期純利益又は四半期純損失（△）	129,409	△222,412

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	129,409	△222,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,029	△18,317
為替換算調整勘定	△219	△485
その他の包括利益合計	△8,249	△18,802
四半期包括利益	121,160	△241,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,160	△241,214
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,194,429	521,917	8,716,346	—	8,716,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,095	559,365	570,460	△570,460	—
計	8,205,524	1,081,282	9,286,807	△570,460	8,716,346
セグメント利益	101,572	32,654	134,227	18,182	152,409

(注) 1. セグメント利益の調整額18,182千円は、各セグメントが負担する売上原価及び営業費用と営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「販売事業」セグメントにおいて、無形固定資産について、電話加入権のうち現在休止手続きを行っている回線につき今後使用が見込めないため、帳簿価額の全額を減損損失として減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては811千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,497,985	419,727	5,917,712	—	5,917,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,280	233,636	239,916	△239,916	—
計	5,504,265	653,363	6,157,629	△239,916	5,917,712
セグメント利益又は損失 (△)	△93,795	△37,906	△131,701	14,762	△116,938

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額14,762千円は、各セグメントが負担する売上原価及び営業費用と営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。